



# おおぞら

長井市立致芳小学校だより  
令和元年11月15日  
第16号

校是「和致芳」

## 第110回創立記念式

11月1日(金)は、本校の110回目の創立記念日でした。創立109周年になりました。致芳教育会様(地域の皆様)から寄贈いただきましたステージ幕のもと、地域の方々を代表してPTA会長様はじめ、副会長の皆様にご来校いただき創立記念式を行いました。

(今年度の校長式辞では、「校章」について次のような話をしました。創立100周年記念誌『味致芳』を参考にさせていただきました。)

### 【今年度の合いことば】

いつでも どこでも だれにでも

「えがお」で「おはようございます!」

「えがお」で「ありがとうございます!」

**あいさつから、ひびきあう仲間・学び・挑戦!**

## 校章にこめられた願い ～梅檀は双葉より芳し～

致芳小学校の今の校章は、今から50年程前になりますが、創立60周年の記念に、新しい校旗を作ることになり、この校章も新しいデザインにしたのだそうです。デザインしたのは、当時の長井中学校で美術を教えていた東海林繁先生という方です。(山形県の県章もデザインしています。)



東海林先生は、「梅檀(せんたん)」という植物をもとに本校の校章をデザインしています。梅檀という植物については、次のようなことわざがあります。「梅檀は双葉より芳し」ということわざです。<梅檀は芽が出たばかりの双葉の時から、いい香りがする。将来大成する人は、幼い時から優れたところが見られる。>という意味です。また、「梅檀の林に入る者は染めざるに衣おのずから芳し」ということわざもあります。<梅檀の林に入ると着物にはよい香りがしみる。よい環境に置かれた者は、自然により性質や行いが身につく。>という意味だそうです。

この校章も、梅檀の双葉を中央に大きく配し、やがてまわりに描かれた成木のように成長していくことを意味しています。デザインした東海林先生も、デザインをお願いした先生方や地域の方々も、優れた資質を持つ致芳小学校の児童をたたえとともに、梅檀の木のようにぐんぐん成長することを願って、この校章を作ったのだそうです。今、この学校で勉強している私達も、その願いをしっかりと受け継いで「一人一人のよさ」「致芳小学校のよさ」をどんどん伸ばしていきたいものです。

さて、皆さんは、4月から「あいさつから、ひびきあう仲間、学び、挑戦!」を合言葉に、勉強や生活に、一生懸命取り組んでいます。

- \* 皆さんのあいさつが、梅檀の香りのように広がって、みんなが仲良くなっていく姿は本当にうれしいものです。致芳小のよいところと褒めていただいている「元気なあいさつ・目を見て笑顔でのあいさつ」をこれからも大切にしていきましょう。また、「ありがとう」「ごめんなさい」の素直な心からの言葉も大切にすること、人を傷つけるような言葉を絶対言わないことも改めて約束しましょう。
- \* そして、学び・挑戦では、今年も緑のコース走に黙々と取り組む姿に感心しています。緑のコース走カードが3枚、4枚と貼り重なっていますね。低学年カードでは7枚目の人もいます。高学年カードでは5枚目の人もいてすごいです。今度は、「読書や自主勉強で頑張るぞ!」と考えている人もいます。これからも、仲間と声をかけ合い努力すること・挑戦することを大切にしていましょ

# 創立記念式

## 児童代表の言葉

児童代表（六年）



ぼくのおじいちゃんは、致芳小学校を卒業しました。ぼくは、おじいちゃんに昔の小学校について話を聞いてみると、おじいちゃんは、

「昔は、スクールバスがなく、森・東五十川地区の子どもは、最上川を舟で渡って学校に行っていたんだぞ。学校には、図書室もなく、市の図書館にも行くのが大変だったから、家の近くに小さな図書館があったんだ。」

と言っていました。この話を聞いて、ぼくはおどろきました。今では、スクールバスや学校に図書室がある環境がぼくたちにとって当たり前になっていますが、これまで致芳小学校に関わってきた多くの方々のおかげで、ぼくたちが安心して毎日を過ごせるのだなと思いました。

致芳小学校には、このように様々な歴史があります。ずつと変わらない良さや伝統もあります。たくさんある中から、今日は二つ紹介します。

一つ目は、「あいさつ」です。今年度は、児童会であいさつ運動を年に三回行っています。また、北中生やお家の方も、ぼくたちのために一緒になって、あいさつ運動に取り組んでくださっています。相手の人とお目をお合わせ、笑顔で「おはよう。」と言つことで、心

が明るくなり、いい気持ちで一日を過ごすことができます。致芳小学校はあいさつがいいので、みんなの仲もとてもいいのだと思います。これからも、あいさつを大切にして、みんなの心がひびき合う致芳小学校にしていきたいです。

二つ目は、「少年少女五十川獅子踊り」です。ぼくたち6年生は、昨年度から獅子踊りの学習をしてきました。獅子踊りのお師匠様は、ぼくたちにいつも、「道具を大切にしなさい。」

とおっしゃいます。道具を大切にすることで、先輩方の思いを大切に受け継いで、一つ一つの踊りを丁寧に心を込めて披露することができると思います。今年も衣装も新しくしていただいたので、学習発表会では、これまでお世話になったたくさんの方に感謝の気持ちを込めて踊りを披露しました。ぼくは牝獅子として火の輪をくぐり、たくさんの方の拍手をいただきました。あの感動は今でも忘れません。これからは、後輩たちに踊りはもちろんのこと、獅子踊りに関わってきた先輩方の思いも伝えていきたいと思えます。

ぼくは、あいさつがひびき合い、みんなが一生懸命になれる致芳小学校が大好きです。ここで過ごすことができるのもあと五ヶ月になりました。これからも、「和致芳」の心を大切に生活していきたいです。あらためまして、致芳小学校一〇〇回目の創立記念式、おめでとうございます。



## 大成功！地区文化祭（11/3） ブラスバンドクラブ・獅子踊りの発表

4年生以上のクラブ員によるブラスバンド演奏と、6年生による「少年少女五十川獅子踊り」ですが、会場いっぱいの地域の皆様に見守っていただき、練習の成果を十分に発揮して披露することができました。

地域の皆様、たくさんの温かい拍手、誠にありがとうございました。また、お世話いただきました獅子踊り指導者会の皆様、保護者の皆様、お忙しい中、誠にありがとうございました。

